横浜市戸塚区民文化センター さくらプラザ 情報誌

SAKURA

Since 2013

SAKURA さくら

Vol.71
3･4月号
2025.3.1 発行

10周年からその先へ　ずっと続く文化芸術

佐藤 采香（ユーフォニアム）

石原 悠企（ヴァイオリン）

鐵 百合奈（ピアノ）

今しかない、この瞬間が芸術を創り出す

== INDEX ==

Pick Up Artist

①佐藤 采香　ユーフォニアムリサイタル
～CD「水の反映」発売記念公演～

佐藤 采香（ユーフォニアム）、
石原 悠企（ヴァイオリン）、**鐵 百合奈**（ピアノ）

②ららら♪ドレミ シリーズ Vol.27
親子でたのしむクラシック　夜空に瞬く音の煌めき

鈴木 啓資（ピアノ）、**水越 乃愛**（ピアノ）、
伊藤 咲葉（メゾ・ソプラノ）　他

連載

アメリカの文化芸術をもっと楽しみ、
ちょっと詳しくなっちゃおう
vol.5／小田 直弥さん

リレーインタビュー
横浜横断！地域連携コーディネーターに
今を聞いてみた

人は皆 背中で語る…見返戸塚人

Web版

SAKURA PLAZA

Pick Up Artist ①

ユーフォニアム奏者

佐藤 采香

―いつもそこには「友情」が―

ぱんだウィンドアンサンブルとして、さくらプラザのホール公演にご出演されたこともあるユーフォニアム奏者の佐藤 采香さん。3月15日（土）に、ソロとしてCD発売記念公演を開催いたします。
今回の公演についてお話をお伺いしました。

―ユーフォニアムをはじめたきっかけを教えてください。
小学3年生の時に金管バンドクラブでユーフォニアムと出会いました。
金管バンドクラブには、コルネットという楽器（トランペットのような形の小さくてやわらかい音が出る楽器）がやりたくて友人と入部しましたが、人員不足を理由に私だけユーフォニアムに誘われ、断ることができなかったことをきっかけにユーフォニアムをはじめました。

―佐藤さんにとってユーフォニアムのどのようなところが魅力的でしょうか？
自分の意思ではなく始めましたが、最初の頃から他の楽器にない音に魅力を感じていました。クラブ活動後の薄暗い帰り道に、玄関にポッと丸くやさしく灯る光がユーフォニアムの音色と似ていると思っていて。
ユーフォニアムはソロ楽器として生まれましたが、多くはバンドの中などで演奏されています。ソロ楽器なのに曲のレパートリーが少ないため、いろんな分岐点で周囲からは他の楽器を勧められましたがあったかーい光のような音色に魅力を感じてここまで続けてきました。

―CD「水の反映」は佐藤さんにとってどのような作品ですか？
「ユーフォニアム」を押し出さずに、今回の公演の共演者でもある石原さん・鐵さんと一緒に作りあげたからこそできた作品だと思っています。人それぞれの個性や考えが異なるように、音楽もそれぞれ違うと思うので、お二人が持っている音楽と自分が持っている音楽を純粋に掛け合わせたものになっていたらいいなというのが願いです。なので今回は、金管楽器らしさやユーフォニアムらしさは求めていません。以前の作品は、「作品とユーフォニアムがどう融合していくのか」というのがコンセプトでもあったのですが、今回のCD「水の反映」は、「人の融合」がコンセプトだと思っています。
また、今回は「水の反映Ⅱ」という楽曲が収録されています。この曲は友人の作曲家・向井響さんに書いていただいた3作品目で、ユーフォニアムとピアノのために書かれた非常にドラマティックな作品です。向井響さんの作曲個展の中で演じられた人形浄瑠璃の一場面で使われた曲が元になっています。この曲を演奏できるなら、もうユーフォニアムから手を引いても良いとさえ思える本当に素晴らしい楽曲で、2024年の新曲ですが一生大事にしたいです。そんな思い入れのある一曲が収録されています。

―CD「水の反映」の完成までに、一番印象に残っていることがあれば教えてください。
演奏者3人の年齢が同じくらいなのですが、（選曲後に）曲について改めて調べたら、自分たちと同じくらいの年齢の時に作曲されている曲が多いことがわかりました。そのことが選曲後にわかったので、みんなで驚きつつ盛り上がったことが印象的でした。完成までの期間はあっという間で楽しかったです。3人で演奏する音楽は、一回も同じ瞬間がありませんでした。そういう音楽家のお二人とご一緒できて、良かったなと思います。

―今回は、ヴァイオリンの石原さん・ピアノの鐵さんとの共演ですが、どのような公演にされたいですか？
共演の石原さん・鐵さん、「水の反映Ⅱ」を作曲された向井さんは、今の私を生かしてくれている友人です。ユーフォニアムを始めるきっかけとなった金管バンドクラブに入部したのも、幼馴染の友人の誘いがあったからですし、吹奏楽を続けていて「もっとやらないと！」と目を覚まさせられるような良い刺激を受けたのも、大学で友人に出会ったからです。分岐点にはいつも周りに人がいてすごく恵まれているので、公演のベースとなるテーマは「友情」で、プログラムは「友情」にまつわるものにしようと考えています。

第49回 全日本吹奏楽コンクール香川県大会 2001年8月3～5日 丸亀市民会館

左から2番目：小学生3年生の時の佐藤さん

―最後に、公演に向けてメッセージをお願いいたします。
ユーフォニアムという楽器は、なかなかリサイタルで取り扱ってくださるホールがない中、この度公演を組んでくださったことをすごく嬉しく思っています。
ユーフォニアムを吹いてきたからこそ出会えた人たちと、「今しか組めないプログラム」と「今しかできない演奏」で、「今しかないリサイタル」にしたいと思っています。
ユーフォニアム・ヴァイオリン・ピアノの組み合わせは、一見「本当に大丈夫かな」という編成かもしれませんが、是非、3人でつくりあげる音色をお楽しみいただけたら嬉しいです。

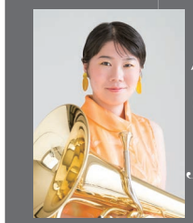
取材・構成／近藤 喬之、沼上 智子

過去のインタビュー記事はこちらから
情報誌 Vol.18【2016年7月発行】→

↑公演HP

チケット好評発売中

佐藤 采香 ユーフォニアムリサイタル
CD「水の反映」発売記念公演
2025年3月15日（土）14：00開演（13：30開場）



佐藤 采香
（ユーフォニアム）
Ayaka Sato
© Ayane Shindo

1992年生まれ、香川県高松市出身。8歳でユーフォニアムを始める。東京藝術大学音楽学部器楽科卒業、アカンサス音楽賞及び同声会新人賞を受賞。同大学大学院音楽研究科修士課程、スイス・ベルン芸術大学スペシャライズドソリスト修士課程修了。ユーフォニアムを船橋康志、村山修一、齋藤充、露木薫、トーマス・リューディの各氏に師事。2018年フィンランド・リエクサ国際コンクールユーフォニアム部門優勝。日本人、そして女性として初の快挙となる。2017年香川県文化芸術新人賞受賞。2018・19年度ロームミュージックファンデーション奨学生。CD「Beans」（オクタヴィア・レコード）、「軒下ランプ」（MClassics）発売中。ソリストとして東京フィル、瀬戸フィル、神奈川フィルほかオーケストラとも多数共演。また、ユーフォニアムの新たなレパートリー拡大を目指し、現代の作曲家への新作委嘱など意欲的な活動を展開している。現在、桐朋学園大学音楽部門特任講師、ぱんだウインドオーケストラユーフォニアム奏者。

石原 悠企
（ヴァイオリン）
Yuki Ishihara

1993年東京都出身。2歳よりヴァイオリン、11歳より作曲、15歳より指揮を始める。桐朋学園大学音楽学部を経て、ベルリン芸術大学ヴァイオリン科学士課程・修士課程を共に最高点で修了。その後、同大学指揮科に在籍。2019-2021年バイエルン放送交響楽団オーケストラ・アカデミーに在籍し、同楽団での数多くの公演に出演。第9回スウェーデン国際デュオ・コンクール第1位、第2回ベートーヴェン国際室内楽コンクール特別賞、ザルツブルクモーツァルト国際室内楽コンクール2013第1位他、国内外のコンクールで多数入賞。第36回霧島国際音楽祭にて2つの音楽祭賞と音楽監督賞を受賞。東京・春・音楽祭、霧島国際音楽祭、ジュリタ音楽祭などの音楽祭に出演する他、日本やヨーロッパ各地で演奏活動を行う。青山音楽財団平成25年度奨学生。ロームミュージックファンデーション2021、2022年度奨学生。

鐵 百合奈
（ピアノ）
Yurina Tetsu

2019年、N&Fよりcdデビュー。同年よりベートーヴェンのピアノ・ソナタ全曲演奏シリーズを開催、並行して録音を行い、2022年「ベートーヴェンピアノ・ソナタ全曲集上巻」（CD 5枚組）を、翌年同下巻を発売、両巻ともに「レコード芸術」で特選盤となる。多くのリサイタルを開くほか、読売日本交響楽団、東京交響楽団、広島交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団などオーケストラとの共演も多い。日本音楽コンクール第2位、岩谷賞（聴衆賞）、三宅賞。高松国際ピアノコンクール審議員特別賞。2015年、皇居内桃華楽堂で御前演奏。第4回柴田南雄音楽評論賞本賞、第5回同本賞。東京藝術大学にて博士号取得。2020年～2023年桐朋学園大学院大学専任講師。

Pick Up Artist ②

ピアノ **鈴木 啓資**　ピアノ **水越 乃愛**　メゾ・ソプラノ **伊藤 咲葉**

—クラシックコンサートを気軽に—

鈴木さんの過去の情報誌連載コラムはこちらから！
※さくらプラザ情報誌 Vol.54「誰も真似ではならぬ！？
鈴木啓資の㊙さくらプラザコンサート企画　案 1」→

さくらプラザの子ども向け企画「ららら ん♪ドレミ」シリーズ第 27 回目は、アットホームな雰囲気をそのままに、会場をホールに移して開催いたします。今回は会場の天井やスクリーンに星空や宇宙の映像を映し出し、クラシック音楽と映像のコラボレーションが楽しめます！

—今回の公演は 2022 年に情報誌のコラム (※) でご執筆いただいた企画案を実現させていただくことになりました。企画者としてどのように臨まれていらっしゃいますか？

鈴木 啓資 (以下、鈴木)

—コラムを執筆している時は、実現できる・できないをあまり考えずに、さくらプラザで私がやってみたい企画を自由に書かせていただいたので、まさか今回このような機会をいただけるとは思っておらず、実現できるのがとても楽しみです。……が、その反面、情報誌で“案”とはいえ、「企画」として多くの方にアイディアを読んでいただいているので、よりその企画案に近づけて皆様にお届けできるようにしたいと思っています。さくらプラザの企画担当の方と打ち合わせをしながら、自分のイメージしていたものにかなり近いコンサートになっているので、聴きにいらしていただいた方にこの世界観を味わってもらい、いろんな感想をいただけたら嬉しいです。

—星や宇宙の映像をお願いする団体【一般社団法人 星つむぎの村】とは、鈴木さんは以前にも共演されていらっしゃるそうですね！

鈴木—そうなんです。なので今回の星空を担当されるのが【星つむぎの村】と伺って驚きました！私が以前にご一緒させていただいたときは映像に合わせたオリジナル楽曲の楽譜をいただき演奏しました。さくらプラザの公演は僕たちが構成したクラシックのプログラムに映像をのせてくださるのでまた雰囲気も変わると思いますし、クラシックの楽曲と映像がどのように重なり合うのか、楽しみです。

—星空・宇宙がテーマのプログラムはどのように選曲されましたか？

鈴木—最初にこの企画の打合せをした際にいろいろと担当者さん (さくらプラザの) と楽曲を出し合いましたが、コラムで企画案を執筆していた時に考えていた曲目がいくつも重なっていたのでその曲目は採用しています。あとは共演のお二人とも話し合って決めていきましたけれど……。思っていたよりも「星」「宇宙」「月」といったテーマに直結するような曲目が見つけられなくて……(笑) ！連弾でご一緒する水越乃愛さん、声楽の伊藤咲葉さんともかなり一緒に悩みました。

水越 乃愛 (以下、水越)

© Ayane Shindo

—楽曲にタイトルがついていると探しやすく、テーマにもピッタリ合わせられるのですが、なかなか今回のテーマに沿ったタイトルの曲目が少なくて……。きっとタイトルありきでプログラムを組むと、どなたが考えても同じプログラムになってしまうのでは、と思い、私は雰囲気で宇宙っぽいな、星空っぽいな、と感じた曲目を提案していきました。

伊藤 咲葉 (以下、伊藤)

—聴いているときに口ずさんだり「この曲知ってる！」と感じたりなど、小さなお子様にも楽しんでいただけるよう、自分が小学生の頃に音楽の授業で歌っていた曲を思い出し、テーマに合った曲を取り入れました。古くから歌い継がれている日本歌曲特有の詩と音楽の美しさを直感的に感じていただきたかったので、誰もが聴きやすい曲目を意識し選曲しました。

鈴木—「星に願いを」はみんな考えが一緒で、すぐ決まったと思います。あまりクラシックだけにこだわらずに候補曲を広げてみました。ピアノのソロ演奏や連弾、声楽も織り交ぜながら、それぞれを楽しめるようにプログラムを構成しています。特に、連弾は音域がソロの時よりも広く、一度に演奏する音の数も倍になるので、より重厚な響きを楽しめると思います。響きの違いを聴き比べてみてほしいですね！

—今回は 1 回目と 2 回目で対象の年齢層を変えています。こだわっている部分がありましたら教えてください。

鈴木—ピアノのソロ曲と声楽曲を 1 回目と 2 回目のプログラムで変えています。1 回目は 0 歳から入場可能な公演ということで、聴きなじみのある曲や、メロディーとしても聴きやすい曲目を演奏したいと思っています。2 回目は小学生からということで、伊藤さんもおっしゃっていましたが、声楽曲は特に教科書に載っているような作品を取り上げてみました。意識したのは、どちらの回にも日本語歌曲を取り入れることです。もちろん、年齢層に合わせて選曲していますが、古くから歌い継がれている日本の歌を聴く機会が今は少なくなっているのかな、と感じることがあって、伊藤さんと話し合いながら曲目を決めていきました。

伊藤—私は子ども向け公演への出演は初めて。ですので、それぞれの公演の年齢層に合わせて、どんな曲が楽しめるかなどたくさん考えましたが、考えている時間も楽しかったです。1 回目の公演では 0 歳から入場可能なので、比較的柔らかめな雰囲気の歌曲を選曲し、2 回目の公演では小学生から入場可能なので、少し踏み込んだ歌曲を選曲したところがこだわりだと思っています。

水越—私も子ども向けの公演に出演するのは初めてで、どんな雰囲気になるのか想像もつかないのですが、自分自身もこの公演を楽しめるようにしたいと思っています。子どもたちに向けて曲目を解説したり、お話を交えて演奏するのも実は初めてなので、ドキドキしています。みなさん、どんな事をお話していますか？

鈴木—私が曲目についてお話しする時は、作曲者についてや、どのように作曲されたか、などの背景はご説明したりするんですが、やはり、ひとりひとりに自由に想像しながら聴いてほしいという想いがあるので、あまり「ここはこういう感情なんです」「この部分が美しいんです」のような、自分の感想というか、「こういう感じがしませんか？」のような「そんな気がする……」と相手に思わせてしまう話はしないように気を付けています。やはり、自分自身で感じて欲しいので！

—演奏と一緒に星空の映像も楽しみのひとつかと思いますが、演奏者の皆さんは今回の空間をどのように過ごしたいですか？

鈴木—今回、きっと演出の都合もあり、お客様側の照明が暗くなると思います。お客様は演奏を聴きながら映し出された美しい映像も見ていますので、私たち演奏者は、聴いている方の表情や雰囲気が通常のコンサートよりも感じとりにくいのかもしれませんが、それと同時に、自分の「音」や「表現」に集中することができる空間になるのではないかなとも思っています。特に「音色」にこだわって演奏したいという想いが強くあります。さくらプラザのホールをどう活かして、音を響かせるのか、というところまで突き詰めたいです。会場と一体となった音色が会場の天井いっぱいに広がる星空と重なり合うことで、まさに音楽と映像の融合が生まれるのではないかなと思っています。星空に見惚れてピアノを弾くのを忘れないように演奏したいと思います (笑)。

水越—私もテーマの「星」や「宇宙」の世界観に入り込んで演奏したいと思っています。親子向けのコンサートなので、アットホームな雰囲気も忘れずに、リラックスした気持ちで演奏して、目と耳で楽しめる演奏会にしたいと思っています。

伊藤—私も音楽と星空や宇宙の情景を楽しみながら、来てくださったお客様を含め、ホール全体をみんなで楽しめる空間にしたいと考えております。その空間に浸りながら幸せな時間をお客様と共有できたらと思います。

—戸塚のお客様へ、メッセージをお願いします。

鈴木—さくらプラザではリハーサル室を会場とした公演も含め、何度か出演させていただいていて、今回は 3 年ぶりの出演になります。ホールのピアノの音が良く、会場自体も天井が高くて響きもとても豊かなので、またここで自分の企画として演奏できることが自分自身とても嬉しく、楽しみです。音楽の良さも伝えつつ、このホールの良さも演奏でお伝えしたいと思っています。ぜひ、気軽に足を運んでいただけたら嬉しいです。お待ちしています。

水越—私もたくさんの方に気軽にクラシックコンサートに遊びに来ていただけたらいいなと思っています。小さなお子様も、難しいことは分からなくても会場に来て、「すごいな」「きれいだな」と思うことが好奇心や興味に繋がると思います。今回の公演がそういった機会になったらいいなと思いますので、ぜひリラックスした気持ちでお越しいただけたら嬉しいです。

伊藤—クラシックコンサートと聞くと固い印象を受けますが、小さなお子様にも楽しむことができるように、和やかで温かい空気を作っていきたいと思います。クラシックだからと難しく考えずそれぞれの音楽の美しさや星空や宇宙の情景の美しさを肌で感じ、ご自身の自由な感性で楽しんでいただけると嬉しいです。会場で皆様とお会いできること、楽しみにしております。

取材・構成／山上 由布子、石田 佑季

本公演で星空演出をしてくださるのは「一般社団法人 星つむぎの村」。星と宇宙の話（2 回目のみ）でご出演くださる**髙橋 真理子**さんから公演に向けてメッセージを頂きました！

一般社団法人 星つむぎの村

星つむぎの村は、「すべての人に星空を」をミッションに、病気や障害、環境などによって本物の星空が見られない子ども達を含む多くの方々に、プラネタリウムで星空を届ける活動をしています。星空はどんな場所にも、誰の上にも広がっています。同じ星空の下、私たちは一人ひとり違って、それぞれが星のように輝く存在。でも、大きな宇宙から見れば、その違いもほんのわずか。「私たちみんな違って、みんな一緒」と星が教えてくれるように思います。さあ、一緒に星を見上げましょう。

ららら ん♪ドレミ シリーズ Vol.27
親子でたのしむクラシック～夜空に瞬く音の煌めき～
2025 年 3 月 2 日 (日)　**好評発売中**
第 1 回　0 歳から入場可能なプログラム
11:00 開演（10:30 開場）※公演時間　約 30 分・休憩なし
第 2 回　小学生から入場可能なプログラム
14:00 開演（13:30 開場）※公演時間　約 60 分・休憩なし

↑公演 HP

アメリカの文化芸術をもっと楽しみ、ちょっと詳しくなっちゃおう

小田 直弥

★★★★★ Vol.5 ★★★★★

ハリウッド映画音楽の祖

横浜市は世界の８つの地域と「姉妹・友好都市」の提携をしています。その最も古い提携先はアメリカのサンディエゴ市です。私たちの身近には、アメリカ発祥のものがたくさんあります。例えば携帯電話や YouTube、ハンバーガーやコーラ、野球やバスケットボール、ジーンズや T シャツもアメリカ発祥です。加えて、アメリカは音楽や文学といった文化芸術にもたくさんの魅力があります。そこで本連載を「アメリカの文化芸術をもっと楽しみ、ちょっと詳しくなっちゃおう！」と題し、音楽と教育を専門とする小田直弥さんと、アメリカ文学を専門とする土屋陽子さんの２名でお届けします。

アメリカ人作曲家ジョン・ウィリアムズ（John Williams, 1932- ）をご存知でしょうか。映画『ジョーズ(JAWS)』(1975)や『スター・ウォーズ(Star Wars)』(1977 ～)、『E. T.』(1982)、『ジュラシック・パーク（Jurassic Park)』（1993）等の作曲者であり、彼の音楽はきっとどこかで耳にしたことがあると思います。映画における音楽の役割は、時代や場所といった状況を表したり、登場人物の内面や映像の雰囲気を音楽を通して強調すること、また物語の展開を予感させること等が挙げられますが、物語や映像と密接な音楽であることによって、それらの効果をより一層引き出したり、高めたりすることが重要です。『ジュラシック・パーク』の冒頭 15 分ほど、恐竜の化石の発掘を行う古生物学者グラントと古植物学者サトラーが、投資家ハモンドの自家用ジェット機でコスタリカ沖の島に建設した新しい施設に移動する場面があるのですが、ここからフルオーケストラで音楽が流れ始めます。最初はセリフ中心で、音楽は影役に徹しますが、ハモンドが「あの島だ（There it is)」と言うと、映像は青々とした海の上をジェット機が駆け抜け、島の木々の雄大な緑が広がるとき、『ジュラシック・パーク』のメインテーマが流れ始めます。この音楽には、海や緑といった壮大な自然を描くだけでなく、物語の中心となる場所を印象的に明示し、聴衆にこれから始まる冒険への高揚感をかきたてる効果があるように感じます。こうした映像や物語との結びつきの強い音楽は、音楽だけを聴いたときにも、「あの場面だ！」と、聴衆に映像や物語を想起させる機能を持つことになります。ちなみに脱線をすると、こうした音楽の機能は、映画だけでなくゲームの分野でも見ることができます。日本人作曲家すぎやまこういちによる『ドラゴンクエスト』シリーズの音楽も、場面や物語との結びつきが強く、『ドラクエⅢ』でみると、空を飛ぶときに流れる「おおぞらをとぶ」、フィールドを冒険するときに流れる「冒険の旅」、最後のボスとの闘いで流れる「勇者の挑戦」は、ゲームに熱中した人であれば、その音楽を聴けば、それぞれの場面を思い起こすことでしょう。このような映画音楽やゲーム音楽は、本来は映像や物語等とともに存在することで真価を発揮しますが、今日においては、映画音楽だけ、またゲーム音楽だけを演奏する演奏会も開催されるようになりました。素晴らしい生演奏に耳を澄まし、映像や物語を思い起こさせてくれることを期待して、演奏会に出かける方も増えてきている印象です。

ハリウッド映画音楽の歴史において、今日のスタイルの祖とも言える重要な貢献をした作曲家がエーリヒ・ヴォルフガング・コルンゴルト(Erich Wolfgang Korngold, 1897-1957)です。ハリウッド映画の音楽に興味のある方であれば、きっと彼の音楽も楽しく聴いていただけると思います。

コルンゴルトは幼少期から神童として扱われ、オペラ『死の都（Die tote Stadt)』（1920）で国際的な名声を勝ち得たのは 23 歳（物語も音楽も、本当に素晴らしいオペラです）、その後しばらくして友人の誘いを受けてアメリカにわたり、映画音楽に関わるようになります。映画音楽は低俗という価値観があった当時に、映画のための美しい音楽を書き続けたコルンゴルトは瞬く間にスーパースターとなり、ハリウッド映画業界の重要人物となりました。『海賊ブラッド（Captain Blood)』(1935)、『ロビンフッドの冒険（The Adventures of Robin Hood)』(1938)、『シー・ホーク（The Sea Hawk)』(1940 年)など、彼の仕事に魅了された１人が先に述べたジョン・ウィリアムズであり、『スター・ウォーズ』のメイン・テーマが、コルンゴルトが音楽を担当した映画『嵐の青春（Kings Row)』(1942）の「メイン・タイトル（Main Title)」とよく似ていることが知られています。ユダヤ人であったコルンゴルトの人生は、必ずしも順風満帆ではなく、自身も晩年にはクラシック音楽の第一線では「忘れられた」作曲家であることを自負するほどでしたが、近年ではオペラ『死の都』やユーモアたっぷりの歌曲も演奏されるようになり、再評価が進んでいます。コルンゴルトの作品を初めて聴いてみたい方へのお薦めはハイフェッツ（J. Heifetz）の演奏する『ヴァイオリン協奏曲　ニ長調』(1945）です。圧倒的なかっこよさと美しさで、コルンゴルトがそれまでに作曲した映画音楽が散りばめられているのも魅力です。YouTube で「Heifetz Korngold」と検索するとヒットすると思います。

年度末の週末、ハリウッド映画をゆっくり見てみるのはいかがでしょうか。アメリカ人作曲家による素晴らしい音楽が、あなたを特別な世界へと連れて行ってくれるでしょう。

小田 直弥

弘前大学教育学部助教（ピアノ研究室）。東京学芸大こども未来研究所学術フェロー。歌曲ピアニストとしてはイタリア、ドイツ、フランス、日本の歌曲の演奏に加え、E. W. コルンゴルトの歌曲のみを集めた「コルンゴルトのタベ」に出演する他、「英語による芸術歌曲の世界」を企画・実施するなど、アメリカ、イギリスの歌曲演奏にも力を入れている。教育研究ではヤマハ株式会社によるエジプト国初等教育への日本型音楽教育導入事業等に参加している。

リレーインタビュー　横浜横断！地域連携コーディネーターに今を聞いてみた

第6回

五味 真紀（ごみ まき）さん

特定非営利活動法人 ハートフル・ポート

〒241-0824 神奈川県横浜市旭区南希望が丘 58
CAFÉ営業時間　火・水　12:00～16:00
※ランチタイム：12:00～14:00
※テイクアウトは 12:00～14:00 販売
※ティータイムは 14:00～16:00
soil 子どものフリースペース　火・水　14:00～17:30
詳細はスケジュールをご覧ください
https://www.heartful-port.jp/schedule/

このコラムでは横浜市 18 区で地域の課題解決のために、コーディネーターとして「地域と人と組織」をつなぐ橋渡し役をしている方たちにインタビューを行います。

―ハートフル・ポートの活動について教えてください。

元々、PTA 活動や社会福祉協議会との関わりなどあったのですが、義母の介護を行っていた時に社会の中で孤独感を感じ、そういった地域課題を解決するために何ができるか悩み、考え、2014 年 6 月に自宅の一部を改装して地域のコミュニティ Café の運営を始めました。お食事を楽しんでいただくのはもちろんですが、認知症カフェやコンサート、マルシェや水彩画教室など様々な方達と連携してイベントを実施しています。詳しくはスケジュールをご覧ください。

2023 年からは soil（ソイル）という子どもの「居場所」提供を始め、学校に行くのが難しいなど社会的に孤立している子どもたちが、色々なスキルを持った人や本物の体験に出会う機会の場作りを希望ヶ丘エリアにある８団体で連携して行っています。

―地域連携コーディネーターはどのような活動をしているのでしょうか？

まず、ここは Café なので自然に情報と人が集まります。

そこでさりげなく人と人をつなげたり、イベントを紹介したりしています。

俗にいう“おせっかいおばさん”でしょうか。（笑）

また現在は「ハートフルファミリー」という活動を行っており、皆でそれぞれが得意なことを活かせる活動を模索したり、イベントを企画したりする場を作っています。

きっと１人が好きな人はいても、独りぼっちが好きな人はいないと思います。人と人とが繋がることで生まれる豊かな関係性が自然と育まれる機会をつくっています。

―地域連携コーディネーターのこれから

今の社会は 100 年に 1 度の変化期だと考えております。

これから AI の急激な進化などで私たちの日常がどんどん変わっていくでしょう。

そんな社会ではきっと、“人”としての“心”これこそ大切にしなければならないのではないでしょうか。

これがとても重要で、コーディネーターにとって大切なのは「人が好きで人に興味があり、その方の活動も応援する、それが生きがいと思える、おせっかいな人（笑）」だと思います。

それぞれの個性があり、スキルがあるので「ああしなさい、こうしなさい」とは私は言いません。

ただ、私のやってきたこと、想いを丁寧に伝えていきます。

人は皆 背中で語る…

ミカエリトツカジン

兄返戸塚人

其之六十九

戸塚の魅力あふれる方々をご紹介するコーナーです。

―まずは柏原さんについて教えてください。

私は長野県出身で、子どもの頃からパンが大好きでした。パン屋さん巡りが趣味で、お店に入ったときに広がるパンの香りが特に好きだったんです。あの香りに囲まれて働けたら楽しそうだなと思い、パン職人を目指しました。横浜に来たのは就職がきっかけです。横浜は近代的なパン発祥の地とも言われており、魅力的なパン屋さんが多く集まる場所です。そんな場所でパン職人として経験を積みたくて、横浜で働くことに決めました。

―『たね埜』についてお伺いできますか？

『たね埜』は 2021 年 2 月にオープンし、私はオープンから 1 年ほど経ったタイミングでここに加わりました。もともとは戸塚にあるイタリアンレストラン『ユナイテッド』の姉妹店としてスタートし、そこからパン屋を立ち上げました。3 年半前にパン屋巡りをしていたときに『たね埜』を見つけて、イタリアンとパンの組み合わせに惹かれてここで働こうと決めました。

―お店の名前や役割について教えてください。

『たね埜』という名前は、「新しい事業に種をまこう」という意味が込められています。私が担当しているのは主にパン作りで、もともとパン職人は 2 人だったのですが 1 年半前ぐらいから、私 1 人と従業員の皆さんで協力しながら作っています。従業員の方にはサンドイッチの具材やパン生地の仕込みをお願いしています。

ブーランジェリー たね埜 柏原（かしわばら） 仁恵（ひとえ）さん

《 たね埜ならではのパンとイタリアンの融合 》

顔見世

―パン作りにはどんなこだわりがありますか？

常連さんが多いお店なので、定番の商品は変えずに提供しています。特に食パンは「ここのお店のものしか食べない」と言ってくれるお客様もいて、その期待に応えるよう心がけています。また、サンドイッチは看板商品として、新作を 2～ 3ヶ月ごとに出して、飽きないように工夫しています。パン職人の仕事はパンで表現することですが、イタリアンとの融合は、たね埜ならではの特徴ですね。味はもちろん、見た目にもこだわっています。

―柏原さんが感じる「やりがい」について教えてください。

私自身これまでずっとパン一筋でやってきており、目まぐるしい日々が続いています。毎日目の前のことに精一杯取り組んでいるという感じです。深夜からひとりで作業をし、明るくなるにつれ従業員の方々とパンを仕上げていき、自分が焼いたパンをお客様が買いに来てくれる。その日々の循環している流れが、私にとってのやりがいです。目まぐるしい毎日なので、休みの日はほぼ寝てしまうことが多いです。

―最後に、戸塚の方々にメッセージをお願いします。

戸塚には幅広い世代の方がいて、皆さんとても優しく温かい印象です。私たちは女性だけのチームですが、みんなで力を合わせて頑張っています。『たね埜』は駅からも近く、気軽に立ち寄りやすいお店なので、ぜひ遊びに来ていただけたら嬉しいです。

戸塚人に逢いに行こう！

ブーランジェリー
たね埜

神奈川県横浜市戸塚区戸塚町121-2
営業時間 10:00 ～売切次第終了
定休：日、月
TEL：**045-443-9229**
Instagram：@boulangerie_taneya

次号の戸塚人は・・・？

この後ろ姿から何処のどなただろうと想像してみてください。次号では見返りポーズでお顔を公開します！

さくらプラザコンサートスケジュール

チケットはお電話（045-866-2501）でご予約いただけます。（一部除外あり）
詳細は各公演チラシをご覧ください。出演者・曲目などは変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
※学生券は公演当日に学生証を必ずご持参ください。※チケット料金は総額表示です。

主　催

ららら♪ドレミ シリーズ Vol.27

親子でたのしむクラシック

～夜空に瞬く音の煌めき～

①0歳から入場可能なプログラム ②小学生から入場可能なプログラム

全席指定
①入場チケット
500円 ※0歳から有料
②入場チケット
1,000円
ペアチケット（2枚同時購入）
1,800円 ※未就学児入場不可

好評発売中

©Ayane Shindo

鈴木 啓資（ピアノ）　水越 乃愛（ピアノ）　伊藤 咲葉（メゾ・ソプラノ）

髙橋 真理子（星と宇宙の話／②のみ）　星空演出：一般社団法人 星つむぎの村

3/2(日) ①11:00開演 休憩なし ②14:00開演 休憩なし

会場 ホール

佐藤采香 ユーフォニアムリサイタル

～CD「水の反映」発売記念公演～

全席指定
一　般　2,800円
横浜市民　2,500円
EX（補助席・見切れ席）　2,000円
学　生　1,000円

好評発売中

3/15(土)
14:00開演 休憩あり

会場 ホール

©Ayane Shindo

佐藤 采香（ユーフォニアム）　石原 悠企（ヴァイオリン）　鐵 百合奈（ピアノ）

日本語と原語で楽しむさくらプラザオペラシリーズ Vol.3

「ガラコンサート＋メノッティ作曲オペラ『電話（The Telephone）』日本語訳詞版」

全席指定
一　般　2,500円
横浜市民　2,000円
EX（補助席・見切れ席）　1,500円
学　生　1,000円

好評発売中

4/19(土)
14:00開演 休憩あり

会場 ホール

©Hidemi Watanabe

野々村 彩乃（ルーシー役）　大山 大輔（訳詞＆演出・ベン役）　佐藤 卓史（ピアノ）

前橋 汀子 珠玉の名曲集 2025 in 戸塚

全席指定
一　般　3,700円
横浜市民　3,500円
EX（補助席・見切れ席）　2,000円
学　生　1,500円

まもなく発売

電話予約開始　4/12(土)14:00～

6/7(土) 14:00開演 休憩あり

※詳細情報は3月中旬公開予定

会場 ホール

©岡本隆史

前橋 汀子（ヴァイオリン）　松本 和将（ピアノ）

共　催　　下記共催公演のチケットはさくらプラザでは窓口のみ取扱い

戸塚区演奏家協会によるガラ・コンサート とつかのん Vol.10

～第 10 回記念公演～

出演：戸塚区演奏家協会 アーティスト
（ソプラノ、ヴァイオリン、フルート、オーボエ、ピアノ）

全席自由　前売り 500円／当日 800円

好評発売中

主催：戸塚区演奏家協会
3/9(日)　14:00開演

会場 ホール

コンセール・アミティエ

第62回 音楽サロン plus ～皆さんとご一緒に～

全席自由
各回前売り
1,000円
当日
1,500円

好評発売中

出演：CHOCORATTE
石森 裕子（サクソフォン）
深町 優衣（ピアノ）
藤橋 万記（パーカッション）
吉府 充希子（ソプラノ）

主催：コンセール・アミティエ
3/25(火) ①10:45開演 ②14:15開演

会場 リハーサル室

コンセール・アミティエ

音もだちコンサートVol.3

おしゃべり広場付き

全席自由
各回前売り
500円
当日
800円
※0歳から有料

好評発売中

出演：阿世知 路子（リトミック＆ナビゲーター）
北村 真紀子（ピアノ）
吉府 充希子（企画）

主催：コンセール・アミティエ
3/27(木) ①10:30開演 ②11:45開演

会場 リハーサル室

社会風刺コント集団

ザ・ニュースペーパーLIVE 2025

全席指定
各回
4,800円

好評発売中

出演：社会風刺コント集団
ザ・ニュースペーパー

主催：東京労音
4/5(土) ①14:00開演※残席僅少 ②17:30開演

会場 ホール

TEL：045-866-2501　FAX：045-866-2502
〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町16-17戸塚区総合庁舎 4F
event@totsuka.hall-info.jp
https://totsuka.hall-info.jp
さくらプラザ　検索
※通信料が発生します。

SAKURA さくら
Vol.71
3・4月号
2025.3.1発行

編集後記

この号を作っているころ、私は人間ドックの結果待ちをしています。そんな私が最近しみじみ感じるのは、日々の積み重ねが仕事でも健康面でも重要ということです……
さあ、2025 年度も皆様にお楽しみいただけるよう、着々と準備を進めております。
ぜひ遊びにいらしてください。

（近藤）

戸塚区民文化センター さくらプラザ

編集・発行：戸塚区民文化センターさくらプラザ　指定管理者：アートプレックス戸塚株式会社　運営企業：株式会社共立